

## 令和5年度 地球温暖化防止に向けた市の取組み

令和5年度に市の事務・事業活動によって排出された温室効果ガスの総排出量は、平成25年度(基準年度)比で、約17.3%減少し、10,725t-CO<sub>2</sub>でした。

引続き温室効果ガス排出量の削減に努めるとともに、「第3次久喜市環境保全率先実行計画」に基づき、取組みを進めていきます。

項目	主な取組み内容	取組み項目	令和5年度結果 (平成25年度比)
電気使用量 ★	昼休み時の消灯、ノー残業デーの実施、トイレ・給湯室・会議室等のこまめな消灯、冷暖房温度の適正管理、太陽光発電システムの活用 等	-	0.6%削減
施設の 燃料使用量 ★	ボイラー等の適正運転、冷暖房温度の適正管理、省エネルギー診断の積極的な活用、省エネルギー機器の導入 等	灯油	57.6%削減
		A重油	78.1%削減
		LPガス	66.4%削減
		都市ガス	115.0%増加
公用車の 燃料使用量 ★	電動車の積極的な導入、出張時の公共交通機関の利用、公用自転車の利用、アイドリングストップ 等	ガソリン	37.1%削減
		軽油	28.6%削減
水道使用量	節水機器の導入、水圧の調整、定期的な漏水調査 等	-	22.1%削減
ごみの減量	分別回収ボックスの活用、使い捨て容器の購入や使用を控える、生ごみのたい肥化、物品の共有化 等	(本庁)	22.7%削減
		(全庁)	分別を徹底した
コピー用紙 購入枚数	ミスコピーの裏面使用、会議資料の簡略化、必要最小限の資料作成、市役所LANによる掲示板の活用 等	-	9.4%削減
グリーン 購入の推進	購入前にグリーン製品であるか確認、環境汚染物質を発生させる可能性のある製品の購入を控える 等	-	購入率 98.5%
公共事業に係る 環境配慮 (A評価割合)	公共事業環境配慮項目の実施、低騒音・低振動型の建設機械の使用、再生資源の活用、建設廃棄物等の適正処理 等	-	A評価割合 100%

★印は、温室効果ガス排出量算定の基礎となる項目です。